

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績			
【法人名】 埼玉高速鉄道株式会社	目標	安全・安定輸送の確保	ブランディングの構築	経常黒字の継続による将来的リスクの軽減
		鉄道運転事故ゼロの継続	【令和元年度目標】 輸送人員 117,700人／日 【令和2年度目標】 輸送人員 118,400人／日 【令和3年度目標】 輸送人員 118,700人／日	【令和元年度目標】 営業利益 3,387百万円, 経常利益 2,967百万円 【令和2年度目標】 営業利益 3,328百万円, 経常利益 2,920百万円 【令和3年度目標】 営業利益 3,068百万円, 経常利益 2,652百万円
【中期経営計画の期間】 令和元年度～令和3年度	各年度の実績	【令和元年度実績】 運転無事故継続	【令和元年度実績】 輸送人員 121,828人／日	【令和元年度実績】 営業利益 4,186百万円, 経常利益 3,852百万円
		【令和2年度実績】 運転無事故継続	【令和2年度実績】 輸送人員 93,241人／日	【令和2年度実績】 営業利益 2,013百万円, 経常利益 1,736百万円
	法人による自己評価	日々の安全確認の励行や施設・設備の適切な維持管理に努め、平成13年の開業から20年間の運転無事故を継続した。 令和4年度からの8両編成列車の当社線への乗入れに向けた工事などを実施した。	「浦和美園花火」に加え、新たにハンドメイド品や地元野菜などを販売する「美園ママルシェ」などを開催した。 また、当社の開業20周年を記念して、記念動画や各種イベント等を通じて、お客様への感謝の気持ちをお伝えした。	新たにクイズを解きながら各駅を周遊するイベントを行うとともに、第2弾となる飲食店応援キャンペーンを実施した。 また、これらのイベントに合わせた企画乗車券や鉄道の日を記念したレトロなデザインのポストカード型乗車券の発売など工夫を凝らした取組を実施した。 さらに、資産の有効活用として、東川口駅にあるコンビニエンスストアをリニューアルするとともに、遊休社有地を保育施設として貸出を行い、7期連続の黒字を達成した。